

安全データシート

改定日：2020年7月16日

1. 製造及び会社情報

製品名：シングルセメント
会社名：静岡瀝青工業株式会社
住所：静岡県焼津市高新田810番地
担当部門：技術部
電話番号：054-622-1255
FAX番号：054-622-6457
緊急連絡電話番号：054-622-1255 技術部 月～金曜日 8:00～17:00
整理番号：D-G21-321004
推奨用途及び使用上の制限：防水用接着剤

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に関する有害性（製品としては分類できない、ミネラルターペン（ミネラルスピリット）として明記）

引火性液体：区分3
自然発火性液体：区分外
金属腐食性物質：区分外
急性毒性（経口）：区分外
急性毒性（経皮）：分類できない
急性毒性（吸入）：分類できない
皮膚腐食／刺激性：分類できない
眼に対する重篤な損傷性・刺激性：分類できない
呼吸器感作性：分類できない
皮膚感作性：分類できない
生殖細胞変異原性：区分外
発がん性：分類できない
生殖毒性：区分1B
特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）：区分2
特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）：区分2
吸引性呼吸器有害性：分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性（急性）：区分3
水生環境有害性（慢性）：区分3

ラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語：危険
危険有害性情報：引火性液体及び蒸気
生殖能または胎児への悪影響のおそれ
臓器の障害のおそれ

長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ
水生生物に有害
長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

【予防策】

- : 使用前に安全データシート（SDS）を入手すること。
- すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。
- 熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。
- 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器等を使用すること。
- 個人用保護具や換気装置を使用し、暴露を避けること。
- 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
- 粉塵／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- 環境への放出を避けること。
- この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
- 取扱い後はよく手を洗うこと。
- 容器を密閉しておくこと。

【対応】

- : 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは、医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。多量の水と石鹼で洗うこと。取り扱った後、手を洗うこと。皮膚刺激が生じた場合は医師の診断／手当てを受けること。
- 衣類にかかった場合、汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- 暴露した場合、医師に連絡すること。
- 暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断／手当てを受けること。気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。
- 火災の場合には消火に適切な消火剤を使用すること。

【保管】

- : 容器を密閉し、涼しい所／換気の良い場所で、施錠して保管すること。

【廃棄】

- : 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託する。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別

: 混合物

化学名または一般名

: アスファルト系接着剤

安全データシート：シングルセメント D-G21-3210004

成分	含有量 (%)	CAS番号	官報公示整理番号		政令番号	
			化審法	安衛法	安衛法	PRTR法
石油アスファルト（鉱油）	15～40	64742-93-4	9-1719	12-189	168（鉱油）	—
合成ゴム	2～10	—	—	化審法準拠	—	—
接着剤	2～10	—	—	化審法準拠	—	—
ミネラルターペン	20～35	非公開	—	化審法準拠	—	—
充填材	20～45	471-34-1	—	化審法準拠	—	—

その他充填材等も含め100%

4. 応急処置

- 吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。身体を毛布等で覆い、保温して安静に保ち、必要なら医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合：付着した身体部位を水で洗浄する。また、汚染された衣類を直ちに脱ぎ、皮膚を多量の水と石鹼水で洗う。
- 眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合は、医師の手当て、診断を受けること。
- 飲み込んだ場合：無理に吐かせないで、速やかに医師の手当てを受ける。口の中が汚染されている場合は、水で十分に洗うこと。

5. 火災時の措置

- 消火剤：粉末消火剤、炭酸ガス消火剤、乾燥砂、泡消火剤。
- 使ってはならない消火剤：棒状水の使用は、火災を拡大し、危険な場合があるため、噴霧状にして放水する。
- 特有の消火方法：大規模火災の場合には、泡消火剤などを用いて空気を遮断することが有効である。周辺火災の場合は、周囲の設備などに散水して冷却し、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。火災発生場所周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 消火を行う者の保護：消火作業の際は、風上から行い、自給式呼吸器等の保護具を着用する。燃焼したとき多量の黒煙を発生する。生成ガス中には有毒な一酸化炭素等含有する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：作業の際には、消火用保護具を着用し、飛沫が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないよう注意する。風下の人を退避させる。ロープを張るなどして関係者の立ち入りを禁止する。
- 環境に対する注意事項：下水道・河川等に流出し、二次災害・環境汚染を起こさないよう注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材：少量の場合、おがくず、ウエス等に吸収させ、密閉できる容器に回収する。大量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、容器に回収する。

- 二次災害の防止策
- ： 下水、速効等に入り込まないように注意する。
 - ： 風上から作業をおこなう。
 - ： 漏洩時は事故の未然防水及び拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。
 - ： 周囲の着火源を取り除き、消火用器材を準備する。
 - ： 衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策
- ： 取り扱う場合は、十分な換気をおこない、火気に注意する。
 - ： 作業中は帯電防止型の作業服、靴を着用する。
 - ： 工具は火花防止型のものを使用する。
 - ： 保管場所で使用する電気器具は防爆構造とし、器具類は接地する。
 - ： 室内で取り扱う場合は、蒸気の発散源を密閉する容器、または局所排出装置、全体換気装置を設ける。
- 注意事項
- ： 風上から作業する。作業環境を許容濃度以下に保つ。
 - ： 漏れ、あふれ、飛散を防ぎ、みだりに蒸気を発生させない。
 - ： 取り扱い後は手を洗うこと。
 - ： 吸入を防ぎ、皮膚、粘膜または着衣に触れたり、眼に入らぬよう適切な保護具を着用する。
 - ： 強酸化剤との接触を避ける。危険物第1類、第6類との混載禁止。
- 保管
- 保管条件
- ： 直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。
 - ： 容器を密閉し、保管場所を施錠すること。
- 注意事項
- ： 火気厳禁
 - ： 酸化性物質との接触並びに同一の場所での保管を避ける。

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策
- ： 空気中の濃度を暴露限界以下に保つために、発生源の密閉、または排気装置を設ける。
 - ： 取扱い場所の近辺に、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。
 - ： 静電気放電に対する予防措置を講じること。
- 管理濃度
- ： 製品に対する有用な情報なし。
 - ： 作業環境評価基準（2012）20ppm<=（エチルベンゼン）
 - ： 作業環境評価基準（2004）<=50ppm（キシレン（異性体混合物））
- 許容濃度
- ： 製品に対する有用な情報なし。
 - ： ACGIH（2010）TWA:20ppm（上気道刺激、腎臓障害、渦巻管損傷）（エチルベンゼン）
 - ： ACGIH（1992）TWA:100ppm、STEL:150ppm（上気道および眼刺激：中枢神経系損傷）（キシレン（異性体混合物））
- 保護具
- 呼吸器の保護具
- ： 状況に応じて、防毒マスク（有機ガス用）等を着用する。
- 手の保護具
- ： 状況に応じて、耐油性型の保護手袋等を着用する。
- 眼の保護具
- ： 状況に応じて、保護眼鏡等を着用する。
- 皮膚及び身体の保護具
- ： 状況に応じて、耐油性型の長袖作業着等を着用する。
- 適切な衛生対策
- ： 取り扱い後はよく手を洗い、うがいをすること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状	: ペースト状
色	: 黒色
臭い	: 有機溶剤臭
pH	: データなし

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

沸点	: データなし
凝固点	: データなし
分解温度	: データなし
引火点	: 44°C (1,2,4-トリメチルベンゼン)
自然発火温度	: 500°C
初留点	: 169°C

爆発特性

爆発限界	: 下限 0.9 VOL%～ 上限 6.4 VOL% (ターペンとして)
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: 空気より重い
密度	: 約1.10

溶解性

水に対する溶解性	: 不溶 (有機溶剤に可溶)
オクタノール/水分配係数	: データなし
その他データ	

10. 安定性及び反応性

安定性	: 常温で暗所に貯蔵、保管された場合、安定である。
危険有害反応可能性	: 強酸化剤と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。
避けるべき条件	: 加熱、混触危険物質との接触。
混触危険物質	: 強酸化剤、酸と接触しないように注意する。
その他	: 現在のところ有用な情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性	: 製品に対する有用な情報なし。
経口	rat LD ₅₀ =3500mg/kg (EHC 186,1996) (エチルベンゼン) rat LD ₅₀ =3500-8800mg/kg (NITE有害性評価書,2008) (キシレン (異性体混合物)) female ratLD ₅₀ =5000mg/kg (RTECS,2008) (1,2,4-トリメチルベンゼン)
経皮	rabbit LD ₅₀ =1700mg/kg (EPA Pesticide,2005) (キシレン (異性体混合物))
吸入 (蒸気)	vapor rat LC ₅₀ =4000ppm/4hr (PATTY 6th,2012) (エチルベンゼン) vapor rat LC ₅₀ =6350-6700ppm/4hr (NITE有害性

	評価書,2008) (キシレン (異性体混合物))
	労働基準法：疾病化学物質 キシレン (異性体混合物)
皮膚腐食性／刺激性	: 製品に対する有用な情報なし。 rabbit 中等度から重度 (NITE初期リスク評価書,2008) (1,3,5-トリメチルベンゼン) rabbit 紅斑、浮腫、壊死 (NITE有害性評価書,2008) (キシレン (異性体混合物))
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	: 製品に対する有用な情報なし。 rabbit 軽度の刺激性 (EHC 186,1996) (エチルベンゼン) rabbit 軽度の刺激性 (NITE初期リスク評価書,2008) (1,3,5-トリメチルベンゼン) rabbit 軽度から中等度の刺激性 (NITE初期リスク評価書,2008) (キシレン (異性体混合物))
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 製品に対する有用な情報なし。
生殖細胞変異原性	: 製品に対する有用な情報なし。
発がん性	: 製品に対する有用な情報なし。 IARC-Gr.2B：ヒトに対して発がん性があるかもしれない (エチルベンゼン) IARC-Gr.3：ヒトに対する発がん性については分類できない (キシレン (異性体混合物)) ACGIH-A3(2010)：確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明 (エチルベンゼン) ACGIH-A4(1992)：ヒト発がん性因子として分類できない (キシレン (異性体混合物)) 日本産衛学会-2B：人におそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質 (エチルベンゼン) EU-発がん性カテゴリ1B：ヒトに対しておそらく発がん性がある物質 (ミネラルスピリット)
生殖毒性	: 製品に対する有用な情報なし。 cat.1B;ATSDR,2007 (キシレン (異性体混合物)) cat.1B;産衛学会許容濃度の提案理由書,2014 (エチルベンゼン)
特定標的臓器／全身毒性 (単回暴露)	: 製品に対する有用な情報なし。 [区分1] 中枢神経系、呼吸器、肝臓、腎臓 (NITE有害性評価書,2014) (キシレン (異性体混合物)) [区分3 (気道刺激性)] 気道刺激性 (ACGIH 7th,2001) (1,2,4-トリメチルベンゼン) 気道刺激性 (NITE初期リスク評価書,2008) (1,3,5-トリメチルベンゼン) 気道刺激性 (環境省リスク評価第13巻,2015) (エチルベンゼン) [区分3 (麻酔作用)] 麻酔作用 (PATTY 5th,2001) (1,2,4-トリメチルベンゼン) 麻酔作用 (NITE初期リスク評価書,2008) (1,3,5-トリメチルベンゼン) 麻酔作用 (NITE有害性評価書,2008)

(キシレン (異性体混合物))
 麻酔作用 (ATADR,2010)

(エチルベンゼン)

- 特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露) : 製品に対する有用な情報なし。
 [区分1] 中枢神経系、呼吸器 (ACGIH 7th,2001 ; 環境省リスク評価第11巻,2013) (1,3,5-トリメチルベンゼン) 神経系、呼吸器 (NITE有害性評価書,2008) (キシレン (異性体混合物))
 [区分2] 中枢神経系、肺 (環境省リスク評価第6巻,2008) (1,2,4-トリメチルベンゼン)
- 吸引性呼吸器有害性 : 製品に対する有用な情報なし。

12. 環境影響情報

- 生体毒性 : 製品に対する有用な情報なし。
 水生生物に有害、長期継続的影響により水生生物に有害 (ミネラルスピリットとして)
- 水生環境急性有害性 : 製品に対する有用な情報なし。
 甲殻類 (ベイシュリンプ) LC₅₀=0.42mg/L/96hr (NITE初期リスク評価書,2007) (エチルベンゼン)
 甲殻類 (オオミジンコ) LC₅₀=6mg/L/48hr (環境省,2002) (1,3,5-トリメチルベンゼン)
 魚類 (ニジマス) LC₅₀=3.3mg/L/96hr (NITE初期リスク評価書,2005) (キシレン (異性体混合物))
 甲殻類 (オオミジンコ) EC₅₀=6.14mg/L/48hr (IUCLID,2000) (1,2,4-トリメチルベンゼン)
- 水生環境慢性有害性 : 製品に対する有用な情報なし。
 甲殻類 (ネコゼミジンコ) NOEC=0.956mg/L/7days (環境省リスク評価第13巻,2015) (エチルベンゼン)
- 水溶濃度 : 製品に対する有用な情報なし。
 0.015g/100ml (20°C) (ICSC,2007) (エチルベンゼン)
 非常に溶けにくい (ICSC,2002) (1,3,5-トリメチルベンゼン)
 非常に溶けにくい (ICSC,2002) (1,2,4-トリメチルベンゼン)
- 残留性/分解性 : 製品に対する有用な情報なし。
 BODによる分解度・4-18% (既存点検,1977) (1,2,4-トリメチルベンゼン)
 急速分解性がなく (BODによる分解度 : 39% (NITE初期リスク評価書,2005)) (キシレン (異性体混合物))
 急速分解性がなく (良分解性 ; 標準方におけるBODによる分解度 : 0% (通産省公報,1990)) (エチルベンゼン)
 BODによる分解度 : 0% (既存化学物質安全性点検データ) (1,3,5-トリメチルベンゼン)
- 生体蓄積性 : 製品に対する有用な情報なし。
 log Pow=3.8 (ICSC,2002) (1,2,4-トリメチルベンゼン)
 log Pow=3.15 (PHYSROP Database,2005) (エチルベンゼン)
 log Pow=3.42 (ICSC,2002) ;BCF=342 (Check & Review,Japan) (1,3,5-トリメチルベンゼン)
 log Pow=3.16 (PHYSROP Database,2005)

（キシレン（異性体混合物））
 土壌中の移動性 : 製品に対する有用な情報なし。

13. 廃棄上の注意

事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、または都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。

投棄禁止。

燃焼する場合は、安全な場所で、かつ、燃焼または爆発によって他に危害または損害を及ぼす恐れのない方法で行うと共に、見張り役をつけること。

その他、関係法令の定めるところに従う。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類 : 該当なし
 国連番号 : 該当なし
 品名 : 該当なし
 容器等級 : 該当なし
 海洋汚染物質 : 該当なし

国内規制

陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、法令の輸送について定めるところに従うこと。

海上輸送 : 船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空輸送 : 航空法に定めるところに従うこと。

追加の規則 : -

輸送の特定の安全対策及び条件 : 該当法規に従い、包装、表示、輸送をおこなう。
 容器の破損、漏れのないことを確かめ、衝撃、転落、落下、容器破損のないよう積み込み、荷崩れ防止を確実にこなう。

15. 適用法令

消防法 : 危険物 引火性液体 第4類第2石油類（非水溶性） 危険等級Ⅲ

化学物質管理促進法（PRTR法） : 第1種指定化学物質 キシレン（異性体混合物）、1,2,4-トリメチルベンゼン、1,3,5-トリメチルベンゼン

※ミネラルターペンに含有

労働安全衛生法 : 表示対象物質（エチルベンゼン、キシレン（異性体混合物）、1,2,4-トリメチルベンゼン、1,3,5-トリメチルベンゼン）

※ミネラルターペンに含有

通知対象物質（エチルベンゼン、キシレン（異性体混合物）、1,2,4-トリメチルベンゼン、1,3,5-トリメチルベンゼン）

※ミネラルターペンに含有

危険物「引火性のもの」

有機則「第3種有機溶剤等」

船舶安全法 : 引火性液体 分類3

航空法 : 引火性液体 分類3

悪臭防止法 : キシレン（異性体混合物） ※ミネラルターペンに含有

大気汚染防止法 : 有害大気汚染物質（中環審第9次答申）エチルベンゼン、キシレン（異性体混合物） ※ミネラルターペンに含有

水質汚濁防止法 : 指定物質 キシレン（異性体混合物）

※ミネラルターペンに含有

16. その他の情報

参考資料

化学物質等安全データシート(MSDS)－第1部：内容及び項目の順序 JIS Z 7250：2005

GHSに基づく化学物質等の表示 JIS Z 7251：2006

GHS 対応 MSDS・ラベル作成ガイドブック：日本塗料工業会

製品安全データシートの作成指針：日本化学工業協会

通知対象物質の危険有害性の要約：中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター

製品評価技術基礎機構 GHS 分類結果 H18.7.24

その他

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取り扱う業者に提供されるものです。ここに記載された情報は現時点で正確なものと考えられますが、危険・有害性の評価は必ずしも完全なものでなく、新知見によって変わることがあります。取り扱う事業者は、これを参考として自らの責任において個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置を講じることが必要であることを理解した上で活用されるようお願いいたします。従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。
